

「これが出来ればジャムセッションが出来る!？」

究極のコツお教えします!

『ジャムセッション=楽器でのコミュニケーション』

ジャムの三原則その1 『弾かずに聞く!』

ジャムの三原則その2 『フレーズを声に出す!』

ジャムの三原則その3 『楽器を見ない!』

『性格のいい人はジャムも上手い!』

『ジャムセッション=楽器でのコミュニケーション』！

まずはこちらのページにある動画を覗いてみてください。

http://youtu.be/2honOh8p_bU

特に演奏の内容よりも

僕たちが常に「目線や合図を使って」サウンドの盛り上がり
伝え合っているところは是非注目してみてください。

ジャムセッションというと

楽器経験が死ぬほどあって、とっても耳がよくて、おまけに勘まで鋭い

「超天才達」がすべてフィーリングでやっているとか勘違いしている人がいますが、
けしてそんなことはありません！！

そう、セッションとはつまり『**楽器でのコミュニケーション**』のことを言います！
実は皆さんが普段何気なくやっている「会話」を楽器でやっているのと同じなのです。
音だけではなくジェスチャーもふんだんに使って意思を伝え合うわけですね。
会話にも「相手が話している時はちゃんと聴く」等のルールがあるのと同じように
ジャムセッションにも、会話をスムーズに進ませるルールやコツがあります。

それを知っていれば誰でも簡単に楽器でコミュニケーションが取れるのです！

結局はソロをとっている人と、バックの人で楽器を通して会話を盛り上げ、
その場、その時、そのメンバーでしか表現できないストーリーを作っていくことが
ジャムセッションの醍醐味ですから！

というわけで、冗談抜きに『会話の出来る普通の人間』ならば誰でもジャムれるのです！！

「ジャムセッションとは何なのか？」を大まかに掴んでいただけましたか？

そして「ジャムセッションに対する偏見」は取れましたでしょうか？

いよいよ次から、具体的な

『これさえ出来れば誰でもジャムれるようになる究極のコツ！』

をご紹介します！！

「楽器が上手くなければ出来ない！」

「音楽理論を勉強しなければ出来ない！」

等の偏見をバシバシ斬って参りますので御期待下さい！！

僕たちの教室では、ジャムする時に
気をつけるべき『**ジャムの3原則**』なるものをいつも確認しています！
この3原則は原則というだけあって
これだけ気をつけていれば楽器を始めたばかりの人でもジャムれてしまう！
という究極のコツでもあります！！
(実際に楽器を触ったこともなかった人が、この3原則を意識しただけで
周りとのコミュニケーションがとれた事例もあります！！)
また、楽器経験のある人もこれを意識しなおすだけで、
「新たな音楽の魅力に気づいた！」と言います。
それでは実際にその3原則を詳細に解説して行きましょう！！

3原則その1「**弾かずに聴く!**」

ジャムの話を振っておいてなんですが、
すこし楽器を忘れて普段の友達との会話を思い浮かべてください。
きっと普通の人なら「自分が話している時」と「相手の話を聴いている」時が交互に訪れ
ていると思います。(喋っているだけだなぁ、と思った人は人生を考え直す必要があります！笑)

そう、会話というのは「相手の話を聞いてそれに反応する」事によって発展していくも
のです。ところが、楽器でこれをやろうとするとなぜかみんな弾きすぎてしまうのです！

これには大きな原因が一つあります。それは、

『**言葉の挨拶は無意識のうちに小さい頃から習っているのに、**

楽器の挨拶は教えてもらう機会が極端に少ない、もしくはない』というものです。

「こんにちは」といわれたら「こんにちは」と返事をするんだよ！と物心がついた頃か
らお母さんやお父さんに教えられる。でも、楽器の場合はいきなり教則本やコピーから
入る場合が多いので、最初から高度な単語ばかりを練習してしまい、会話を練習していな
い人が多いのです。単語ばかり覚えても英語が全く話せなかった経験のある(?) 勉強熱
心な皆さんなら、この差がよーくお分かりいただけると思います。(笑) そこで、始めは「弾
かない」事を徹底してください。そして弾いていない間は周りのメンバーの音をよーく聞
くことを徹底してみてください。

具体的にはもう一度こちらの動画を確認下さい。

http://youtu.be/2honOh8p_bU

特に始まりで、ギターがシンプルなフレーズで、適度に間を空けて周りを聴き、
他のメンバーがそれに答えてフレーズを返しているのがお分かりいただけると思います。
このように、楽器経験者も初心者も『**弾かずに聞く**』事がジャムを面白くする原則の1つ
になってくるのです！！

3原則その2 「フレーズを声に出すこと！」

楽器は叩いたり、吹いたり、弾いたりするだけで音が出る便利な道具です。ということは半面で「頭の中でサウンドしていなくても音が出てしまう」という事です！お陰でイメージできていない音まで出してしまいがちです。

イメージできていない音が出ると、次のフレーズが出てきません。さらに、音数が増えて間が無くなってしまうので『弾かずに聞く』が実践できません。という事は周りのメンバーとコミュニケーションがとれなくなってしまい、ジャムセッションにならなくなってしまいうということですよ！！

そこで今日からは「**フレーズを声に出しながら弾く癖**」を徹底して身につけて下さい！（管楽器の人は吹きたいフレーズをあらかじめ口で歌って確認してから吹いてみましょう！）実は口というのは手足よりも脳みそに直結している楽器です。声に出しながら弾くと頭の中でイメージしているフレーズのみを楽器に反映しやすくなります。すると不思議と周りのメンバーの耳がそのフレーズに向きます。

科学的根拠はありませんが、どうやら人間の耳というのは、『**頭の中でしっかりイメージされて出たサウンド**』と『**指だけでパラパラ弾いたサウンド**』をしっかりと聴きわけて、前者の方だけを印象に残す能力が備わっているようです。

ですからまずは騙されたと思って『**フレーズを声に出すこと**』徹底してみてください。

ちなみに再度こちらの動画を確認いただけると、ギターの斉藤の口が少し動いている事が確認できると思います。

http://youtu.be/2honOh8p_bU

バンド全体の音量が下がるところでは、よく聞くとフレーズを歌っている声も聞こえます！（笑）このくらい徹底する事が、ジャム上達への近道ですよ！！

また、これはけして「歌の練習」ではないので、楽器と声の音程がぴったり合わなくても問題ありません！極端な話、唸る様な声だけでも出せていればOKです。

ようは、声に出すことによって、常に頭の中にサウンドしている事を確認するために行うのです。

この辺を勘違いして、「やっぱり私は音痴だから楽器は無理・・・。」なんて早まらないようにお願いしますね！！（笑）

3原則その3 「楽器（楽譜）を見ないこと」

人の視覚からの情報は全体の80%とも言われています。もの凄い情報量を目から得る事が出来るわけです。しかし、これが音楽になると仇となります！なぜなら、「目に頼って楽器を弾いてしまう」からです。ジャムすると多くの方は自分の楽器を見すぎて、自分と楽器だけの世界に入り、周りが聞こえなくなる傾向があります。

例えばドラマーの方をみながら演奏してみましょう。すると、手足が動いてリズムを刻んでいるのが誰の目にもわかると思います。そしてその動きを見るだけでリズムが見えてきます。そう、周りの人を見ることによって『周りのリズム』が見えてくるのです！！

そしてリズムが見えてきたらなぜか不思議なことに『周りのサウンド』も聞こえてくるのです！！騙されたと思って試してみてください。周りのサウンドが聞こえてくるだけで、自分の楽器のサウンドがそこに溶けていく感覚が味わえると思います！

自分の楽器を見ずに周りを見るだけで、
自分の世界だけに入らずに、周りのサウンドが聞こえてくるなんて一石二鳥ですね！！

また『楽器を見ない』で演奏すると、自然と「目」ではなく「耳」で音を聞き取ろうとするので、耳がよくなります！実は楽器を見たり、楽譜にかぶりつきになって演奏している瞬間というのは、自分の音すら聞こえていないのです！その瞬間というのはまさに「視覚」で楽器を演奏しています。でも、サウンドというのは基本的に耳で作るもの。「聴覚」をつかって演奏するだけで色々な事が見えてきますし、なにより、耳がよくなって楽器自体が急速に上達しはじめます！！

そして、楽器を見ないことによって手隙になった「視覚」を遊ばせておくのはもったいないですね！周りの音が聞こえてきたら、「視覚」はコミュニケーションのために使うのがジャムセッションのコツです！『アイコンタクト』なんて言われ方もますが、人間の視覚は想像以上の情報を伝える事が出来ます。

例えば「ここから盛り上げて行くよ！」とか「ここでソロ交代」とか、「エンディングだよ！」なんていうのも、目線でバンド全体に伝える事が出来るわけです。

さて、『楽器を見ない』事の重要性はご理解いただけましたか？それではもう一度動画で僕たちが「ほとんど楽器を見ずに、盛り上がりやセッションの展開を目で伝え合っている」部分に注目してご覧下さい！

http://youtu.be/2honOh8p_bU

性格のいい人はジャムも上手い！

それでは最後に、今からジャムセッションへの大いなる一歩を踏み出そうとしている人にエールを送る意味で面白いお話をしたいと思います。

今まで書いてきたジャム3原則をみてもわかるように、ジャムセッションの達人とはすなわちコミュニケーションの達人です。コミュニケーションの達人とはどういう人かというところ、**『相手の気持ちを想像し、お互いの意思を疎通させることの出来る人』**です。

要するにとっても性格のいい人です！
僕たちのセッションに顔を出してくれている人たちを見ても、相手の気持ちを汲んで、いいコミュニケーションのとれる人は、ジャムでもそういう素晴らしいプレイを連発します。

逆にどれだけ楽器自体が上手くても、周りを見向きもせず弾きまくってしまうタイプの人はそこまでの演奏しかできません。

ですから、いいジャムセッションのある場所には必ず気持ちのよい人たちが集まっています！！

あなたも3原則を忘れずに、楽器でコミュニケーションをしようとしたら必ずいいプレイ、そしていい人間に出会うでしょう！！

このテキストがあなたのよき出会いの小さなきっかけになれば幸いです。

またジャムセッションに強く興味の湧いてしまった方には引き続きジャムセッション体験教室やセッションイベントにて実際にセッションの醍醐味やコツをお伝えしていますので、是非ともそちらでジャムれたらと思っております。

<http://www.jam-life.com/>

何は無くともここまで読んでいただきありがとうございました！
いつかお会いできる日を楽しみにしています！！

FTJS! セッションインストラクター一同